



令和4年中の高齢者死亡事故の特徴

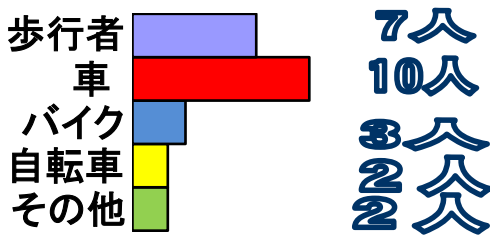
鹿児島県警察本部交通企画課

1 発生件数・死者数

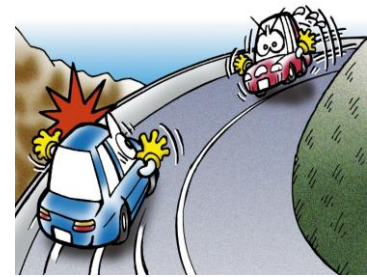
	全体		高齢者		
	発生件数	死者数	発生件数	死者数	死者数構成率
令和4年	40	42	23	24	約57.1%
令和3年	47	47	26	26	約55.3%
対前年比	-7	-5	-3	-2	

- 令和4年中、高齢者の死亡事故発生件数、死者数ともに減少。
- 全交通事故死者数の約57.1%が高齢者で、全国平均の約56.4%を上回る。

2 状態別死者数



その他：一輪車を押して横断中
動力運搬車を運転中



3 高齢者死亡事故詳細

○ 昼夜別の死者状況

昼	18人
夜	6人
計	24人

○ 歩行中死者数・夜光反射材着用状況



歩行中死者	昼間	3	反射材	着用	0
	夜間	4		非着用	4

○ 横断歩行中の相手車両の進行方向



歩行者から見て右から来た車	1
歩行者から見て左から来た車	3

- 歩行者の方へ**
- 歩行中死者7人のうち、4人が道路横断中の事故で亡くなっています。
 - ・近くに横断歩道がある場合は横断歩道を渡りましょう。
 - ・横断する際は、右、左を確認し、道路の中央付近でもう一度左の安全を確認して横断しましょう。
 - 歩行中死者7人のうち、4人が夜間に交通事故に遭い、全員が夜光反射材を着けていませんでした。
 - ・事故の危険性が高くなる夜間は、今外出する必要があるのか考えてみましょう。
 - ・やむを得ず夜間外出する際は、必ず夜光反射材やLED製品等を着用しましょう。

- 運転する方へ**
- 高齢運転者による交通死亡事故14件のうち、6件が単独事故でした。
 - ・高齢運転者に主な責任のある死亡事故は、42人中16人でした。
 - ・加齢に伴う身体機能の低下により、高齢運転者は交通事故を起こすリスクが高まります。
 - ・補償運転により、運転環境を整えて、ゆとりのある運転に努めましょう。
- 補償運転とは、運転者自身が「より安全な運転環境」を選択して運転することで、交通事故の危険を少なくする運転方法をいいます。
- ・先進安全技術搭載の「安全運転サポート車」への乗り換えを検討してみましょう。